

輸入材からの転換など 国産材製品安定供給に向けた取組の可能性について

1. 短期的取組

(1) 木材加工事業者

- ・ 不足材への生產品目の転換（梱包材生産からラミナ・羽柄材生産への転換、再割加工、背板の有効活用 など）

(2) 建築事業者等

- ・ 不足する輸入材製品の代替となる国産材製品の活用（WW 集成材からスギ集成材への変更、設計上の工夫 など）

2. 中長期的取組

(1) 木材加工事業者

- ・ 中小製材事業者の連携による、乾燥施設設置
- ・ 中小製材工場等を束ねて製品を加工し需用者に納入 など

(2) 建築事業者等

- ・ 輸入材依存ではなく地域材活用を前提とした設計 など

(3) 各事業者共通

- ・ 取引先との協定に基づく取引量の拡大
- ・ 地域材を活用するための新たなサプライチェーンづくりに向けた関係者間の情報共有や連携を強化
- ・ 在庫量の確保について（原料、半製品、製品を各事業者がどの程度持つか）
- ・ もりんくの活用 など